



トータクのフッ素ホース

TAC^{タック}フルオロ

「安全性」「使いやすさ」を追求しました。

薬品・化学品・食品の輸送用途に

食品衛生法適合

厚生労働省告示201号

厚生労働省告示267号

TOTAKU

TAC^{タック}フルオロシリーズ

- リーズナブルスペック
- 簡単接続 (TACフルオロ用)
- 内面平滑で、よく曲がる
- オール樹脂で軽量
- サクション・デリバリー両用

フッ素ホースの特性

耐薬品性・耐溶剤性

4フッ化樹脂で化学反応しにくい、耐薬品性に優れます。

非粘着性

流体がくっつきにくく、撥水性に優れているため、洗浄が容易。

非抽出性

溶出しにくい、液体の変質が少なく食品衛生法に適合します。

TACフルオロA



TACフルオロC



TACフルオロAアース



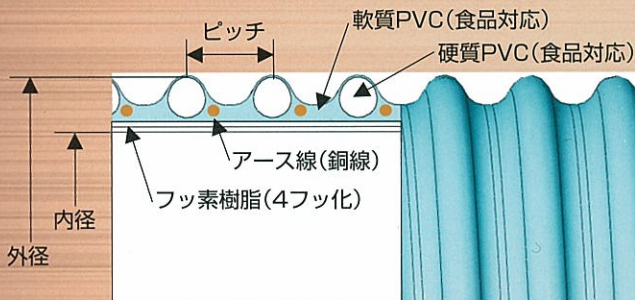
TACフルオロCアース



構造図

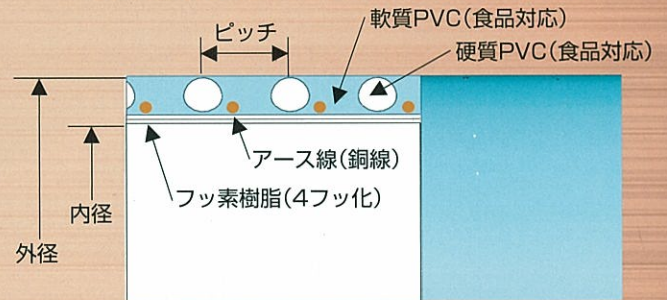
リップ付らせん形状の内面にフッ素樹脂を積層した特殊構造。

TACフルオロA / *TACフルオロAアース



構造図 TACフルオロAアース

TACフルオロC / *TACフルオロCアース



構造図 TACフルオロCアース

*アース線入りは特注品となります。

標準寸法・物性

TACフルオロA TACフルオロAアース ()はTACフルオロAアース

呼び径 mm[inch]	内径 mm	外径 mm	ピッチ mm	参考質量 g/m	定尺 m	許容圧力(常温) MPa [kgf/cm ²]	使用温度 ℃	減圧変形温度 ℃ 注1,2)	許容曲げ半径 mm
50{2}	50.8	60.6	10.0	770 (809)	10	0.25{2.5}	-10~50	60	300

TACフルオロC TACフルオロCアース ()はTACフルオロCアース

呼び径 mm[inch]	内径 mm	外径 mm	ピッチ mm	参考質量 g/m	定尺 m	許容圧力(常温) MPa [kgf/cm ²]	使用温度 ℃	減圧変形温度 ℃ 注1,2)	許容曲げ半径 mm
38{1 1/2}	38.0	46.2	9.0	690 (725)	10	0.4{4.0}	-10~50	65	350

※ 呼び径25mmは近日発売予定です。

注1) 減圧変形温度: ホース直管状態で、-101.3kPa(-760mmHg)に減圧した際に変形する温度

注2) 減圧変形温度は使用温度を示すものではありません。

TACフルオロ用

しめTAC

食品衛生法適合

厚生労働省告示201号

厚生労働省告示416号

● 安全性

耐圧性能：特殊抜止め構造の採用により、耐圧性能を向上しました。

材質：ホルダーは耐食性に優れたSCS14(SUS316相当)

ボルト：簡単・確実な締付けを実現する六角穴付きタイプ

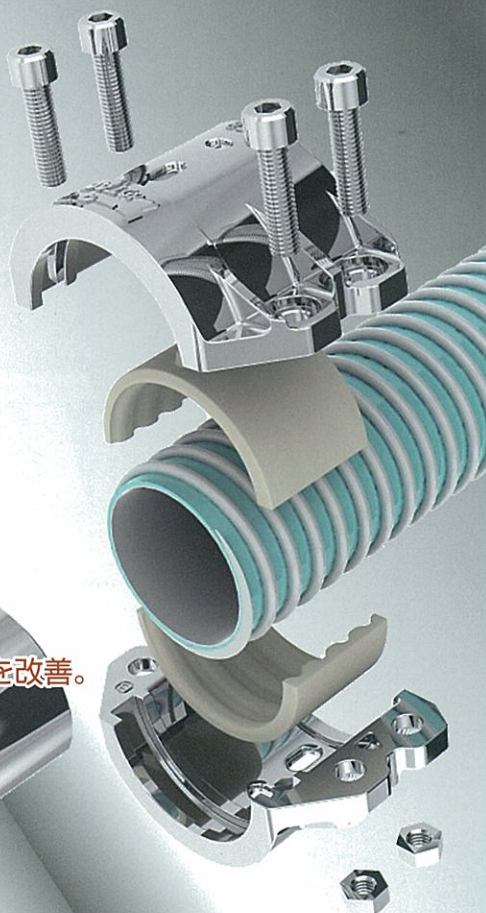
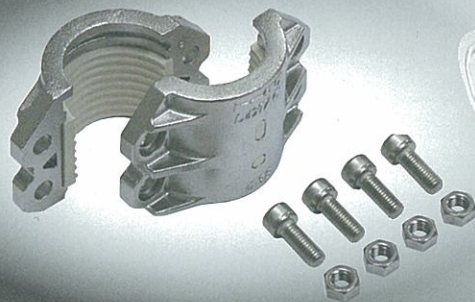
● 使いやすさ

作業性：現場で簡単に接続できます。

経済性：繰り返しご使用頂けます。

分解性：分解清掃が可能。ニップルの取り外しも簡単。

液だまり：ニップル先端形状の見直しにより、液だまりによる不満を改善。



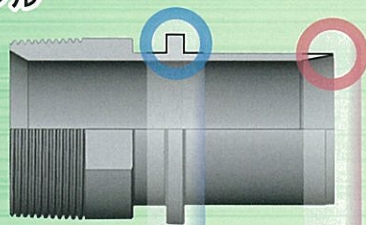
TACフルオロ用しめTAC

しめTAC SUS製ホルダー…上下各1個
しめTAC用シリコン製パッキン…2個
SUS製ボルト、ナット…各4セット

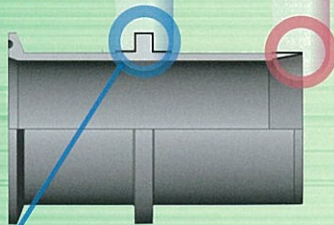
構造・特長

TACフルオロ用しめTAC/しめTAC専用ニップル

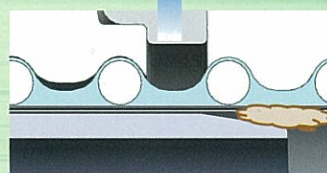
しめTAC用M1 ニップル



しめTAC用ヘルール付ニップル



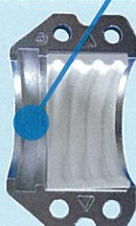
従来タイプ



ホース取付例



特殊
抜止め構造



各種流体に対する耐性

この表は材質(プレスシート)の薬品浸漬試験(当社実験データ)、文献を元に作成したものです。従って静的条件下での表であり、実際にホースが使用される条件とは現象(材質変化)が異なる場合がありますので、詳しい使用条件をご確認の上、お問い合わせください。また、本表はあくまでも各種流体に対する化学的特性を示すもので、実際のご使用にあたっては対応する法令に従いご使用ください。

※特に断りのない限り、水性溶液の濃度は飽和状態、温度は常温(RT)です。

各種流体に対する耐性は下表の通りです。
○ 全くあるいはほとんど影響ありません。
△ 相当影響があります。
(条件により使える場合もあります。)
× 使用に適しません。

油・溶剤・薬品(濃度重量%・温度℃)	耐性	油・溶剤・薬品(濃度重量%・温度℃)	耐性	油・溶剤・薬品(濃度重量%・温度℃)	耐性	油・溶剤・薬品(濃度重量%・温度℃)	耐性
アクリロニトリル	○	オクテン	○	ジメチルアセトアミド	○	バルチミン酸	○
アセチレン	○	オゾン	○	ジメチルフタレート	○	ピクリン酸	○
アセトアルデヒド	○	オレイン酸	○	ジメチルホルムアミド	○	ヒ酸	○
アセトフェノン	○	海水	○	臭化水素酸	(20%常温)	ヒドラジン	○
アセトニトリル	○	過塩素酸	○	しゅう酸	○	水酢酸	○
アセトン	○	過酸化水素	(30%常温)	臭素	○	ピリジン	○
アニリン	○	過酸化ナトリウム	○	硝酸	(61.3%常温)	フェニルヒドラジン	○
亜麻仁油	○	苛性ソーダ(水酸化ナトリウム)	(10%常温)	硝酸アンモニウム	○	フェノール(RT)	○
アミルアルコール	○	ガソリン	○	硝酸カルシウム	○	フタル酸	○
亜硫酸	(10%常温)	過マンガン酸カリウム	(5%常温)	硝酸カリウム	○	フッ化アルミニウム	○
亜硫酸ガス	○	カセイカリ	(20%常温)	硝酸銀	○	フッ化ホウ素酸	○
亜硫酸ナトリウム	○	苛性ソーダ	(50%常温)	硝酸ナトリウム	○	フッ酸	○
安息香酸	○	キシレン	○	硝酸鉛	○	フッ素	○
アンモニアガス	(冷)	クエン酸	○	食塩	○	ブチルアルコール	○
アンモニアガス	(熱)	グリコール酸	○	水銀	○	ブタン	○
硫黄	○	グリセリン	○	水酸化アンモニウム	○	フルフラール	○
イソオクタン	○	グルコース	○	水酸化カリウム	(30%常温)	ブレイキオイルDOT3	○
イソプロピルアルコール	○	グリセロール	○	水酸化カルシウム	○	プロピルアルコール	○
一酸化炭素	○	クロム酸	(25%常温)	水酸化バリウム	○	プロピレンオキシド	○
エチルアルコール(エタノール)	○	クロロホルム	○	水酸化マグネシウム	○	ヘキサン	○
エチルエーテル	○	クロロホルム	○	水素	○	ヘプタン	○
エチレンオキシド	△	クロロ酢酸	○	ステアリン酸	○	ベンズアルデヒド	○
エチレングリコール	○	クロロベンゼン	○	セロソルブ	○	ベンジルアルコール	○
エチレンジアミン	○	ケイ酸ナトリウム	○	炭酸	○	ベンゼン	○
エチレンジクロライド	○	鉱油ASTM No.3	○	炭酸アンモニウム	○	ベンゾイルクロライド	○
エポキシエポキシ	○	酢酸	(50%常温)	炭酸ガス	○	ホウ砂	○
塩化亜鉛	○	酢酸アルミニウム	○	炭酸ナトリウム	○	ホウ酸	○
塩化アルミニウム	○	酢酸エチル	○	チオ硫酸ナトリウム	○	ホルムアルデヒド	(40%常温)
塩化アンモニウム	○	酢酸鉛	○	テトラヒドロフラン	△	マレイン酸	○
塩化カリウム	○	酢酸ブチル	○	天然ガス	○	水	○
塩化カルシウム	○	サラダ油	○	灯油(ケロシン)	○	ミョウバン	○
塩化第二銅	○	サリチル酸	○	トリエチルアミン	○	メタノール	○
塩化第二水銀	○	三塩化リン	○	トリnブチルアミン	○	メタン	○
塩化(第二)鉄	(25%常温)	酸素	○	トリクロロエチレン	○	メチルアルコール	○
塩化銅	○	次亜塩素酸カルシウム	○	トリクロロ酢酸	○	メチルイソブチルケトン	○
塩化ニッケル	○	次亜塩素酸ナトリウム	(5%常温)	トルエン	○	メチルエチルケトン	○
塩化バリウム	○	ジアセトンアルコール	○	ナフサ	○	メチレンクロライド	○
塩化マグネシウム	○	シアン化銅	○	ナフタリン	○	モノクロル酢酸	○
塩化メチル	○	ジnブチルアミン	○	二塩化エチレン	○	四塩化ケイ素	○
塩酸	(38%常温)	ジオキサン	△	ニトロベンゼン	○	四塩化炭素	○
塩素ガス	(乾)	シクロヘキサノール	○	乳酸	○	硫酸	(98%常温)
塩素ガス	(湿)	シクロヘキサノン	○	二硫化炭素	○	リン酸	(50%常温)
主水	○	シクロヘキサミン	○	nメチルアニリン	○		
オキシ塩化リン	○	ジブチルフタレート	○	nメチルピロリドン	○		
オクタン	○	脂肪酸	○	パークロルエチレン	○		

注)環状エーテル系の薬品については、内層を透過し、外層に劣化等の影響があります。ご使用条件をご確認の上、お問い合わせください。

！ お取り扱いのご注意

◎弊社カタログのお取り扱い注意事項をよく読んでいただき、留意点を必ずお守りください。

①ホース使用上の注意事項

用途

・医療、医薬用途には適しません。したがって医療、医薬用途における安全性は保証できません。

使用条件

- ・使用温度範囲内、使用圧力内、許容曲げ範囲内でご使用ください。
- ・許容圧力は連続使用圧力ではありません。
- ・許容の圧力はご使用条件(温度、圧力、曲げR等)によって大きく影響を受けます。特に、流体、周囲の温度による影響は大きく、50℃で使用した場合、常温(23℃)時の約半分となります。
- ・過度の繰り返し屈曲によるご使用は、ホースの破壊、破損を生じる原因となります。
- ・内層はフッ素樹脂なのでほとんどの薬品、溶剤に耐性がありますが、ご使用条件下でのご確認をお願いします。また不明な点がございましたらご相談ください。
- ・使用条件や長期間のご使用で内層を流体が透過し、中間、外層が劣化、膨潤する場合があります。また、流体の特性、ご使用条件(温度、圧力、曲げ)によっては、内面の磨耗、剥離等が発生する場合があります。日常点検、定期点検を実施していただき異常が発見されたら、新品と交換してください。
- ・薬品、溶剤用途でのご使用の場合、外層、ホルダー及びバック金を流体に接触するようなご使用はお控えください。膨潤や破損の原因となります。
- ・食品衛生法には適合していますが、外層、ホルダー及びバック金を食品流体に接触するようなご使用はお控えください。
- ・食品、飲料でのご使用の場合、ホース内を洗浄してからご使用ください。
- ・熱湯洗浄は温度80℃以下、圧力0.1MPa以下、加圧時間3分以内でホースが過度に屈曲しない条件で行ってください。

その他

- ・検査要領は弊社カタログのお取り扱い注意事項を参照ください。
- ・ホースは消耗品です。異常が発見されましたら新品と交換してください。
- ・裸火に直接ふれたり、近づけないでください。

②廃棄の注意事項

- ・使用済のホースは、産業廃棄物として取り扱ってください。
- ・燃焼すると有毒ガスが発生しますので絶対に焼却しないでください。

③アッセンブリーの注意事項

- ・TACフルオロ用しめTAC及びしめTAC専用ニップルのご使用をおすすめします。
- ・バック金は上下兼用です。外周の突起をホルダーの開口部にあわせ差し込んでください。
- ・アッセンブリーの際には、ホース内面、ニップル及びバック金の油類等をよく拭き取ってください。またニップルをホースに差し込む時に、油類をつけたり、ホースを火であぶったり、叩いたりしないでください。
- ・ニップルをホースにしっかり差し込み、ホルダーはフランジが接触するまで締めてください。漏水、ホース抜けなど性能が低下する恐れがあります。
- ・内圧限界時の故障につきましては、ニップルからの漏水するよう設計しておりますが、ご使用条件(使用温度、曲げ、ホースの経年劣化、高粘度の流体のご使用等)によりましては、ホースの抜けやホース破損を生じる場合があります。
- ・ニップルを取り付けた際には、安全性(ホルダーの締め付け、ボルトの緩み、漏れ、抜け等)をご確認ください。

④TACフルオロ用しめTAC、同ニップルの注意事項

- ・ニップルはSUS316を使用しております。ホルダーもSCS14(SUS316相当)を使用しておりますが、酸系の薬液で腐食が生じる場合があります。ご使用前にご確認またはご相談ください。
- ・ボルト、ナットはSUS製を使用しております。付属品以外のナットをご使用の際には、焼きつき防止処置をしたものをご使用ください。
- ・ニップルの端部は肉厚が薄くなっております。落としたり、叩いたり、いたしますと変形する場合がございますのでご注意ください。
- ・バック金の圧縮によるひずみ、破損及びその他異常が発見されましたら新品と交換してください。

東拓工業株式會社

http://www.totaku.co.jp/ E-mail: info@totaku.co.jp

■ 本 社 / 〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南1丁目1番33号 TEL 06-6308-6657 FAX 06-6308-6761
■ 東京支店 / 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-15 TEL 03-5821-8192 FAX 03-5821-8202
(イトーピア岩本町一丁目ビル1F)

■ 北海道 / TEL(011)221-3366
■ 東北 / TEL(022)296-2551
■ 中部 / TEL(052)581-7761
■ 北 陸 / TEL(076)443-6230

■ 中 国 / TEL(082)241-1466
■ 四 国 / TEL(087)833-0822
■ 九 州 / TEL(092)431-6120